

有田市コミュニティ・スクールだより

有田市教育委員会

R8.7.1

～市内全校に地域とつながる部屋(スペース)を設置～ ～一例として、箕島小学校がコミュニティ・スクールの研修会で取組を発表！

和歌山県教育委員会が主催し、5/8 に和歌山市(ビッグ愛)で開催された研修会です。有田市から学校運営協議会委員、公民館職員、学校関係者などが現地やオンラインで多数参加し、地域と学校の連携に対する関心の高さがうかがえました。様子や内容を一部ご紹介します。



実践発表より

テーマは「空きスペースを生かした地域と子どもの居場所づくり～子どもも地域もあそび心を大切に～」。

空き教室や空きスペースを利用した取組です。有田市がめざす地域連携の一環で、将来的に学校内で子どもたちと地域の人々が自然に交流できるよう居場所をつくったことなどが発表されました。



参加者の感想より

「学校と地域の関わりについて、学校内への地域の人々の居場所づくりとか、クラブ活動への参加の例などを示してください、大変参考になりました。」

「発表の中に教員の働き方改革に関する内容もありました。学校運営協議会で話し合っていきたいと思います。」
「地域の人とつくる“かまどベンチ”の構想は素敵です。」

県CSマイスターの講評より

「市内全校で取り組んでいるというのは、機会均等の点から大きな意味があります。学校や地域の実情に合わせた今後の運営の広がりを期待します。」

「居場所は、自分事として関われる場所になります。居場所ができることで会話が増え、ともに関わる機会が生まれ、互いに学び合うことができる場となるでしょう。」



音無マイスター



大谷マイスター

オンライン参加は、公民館や自宅等以外に市民会館の会議室でも行われました。



9/13(日) 10:00～11:30 に有田市の学校運営協議会委員対象の研修会を計画しています。関係の皆様方、よろしくお願いします。また、その時の様子はこのCSだよりでお伝えする予定です。

